



ユキワリソウ（新見市草間）

撮影 徳田名誉院長

CONTENTS

シリーズ 『 乳がん 』

第 3 回 看護師・臨床心理士の関わり

乳がんは比較的若い年齢で罹患することが多く、そのため患者さんの多くが若くして様々な悩みを抱えることになります。その悩みに寄り添う、当院の看護師・臨床心理士による患者さんとの関わりについてご紹介します。

News & Topics

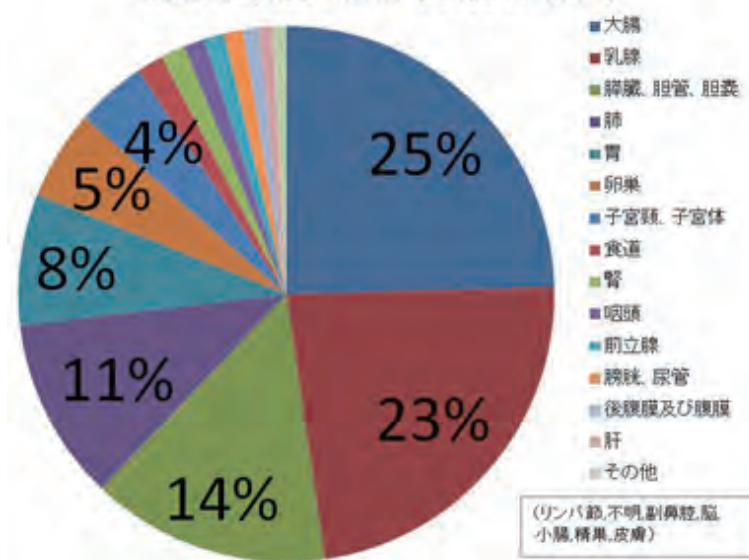
OSCE CUP 2017 で当院研修医が
3 部門で MVP を獲得

化学療法での関わり

化学療法センター がん化学療法看護認定看護師
大谷 孝代

当院の化学療法センターでは、多くのがん患者さんの治療を行っています。その中で、乳がんの患者さんは、約23%を占めています。女性が罹るがんの中では、全国でも乳がんはトップとなっています。

がん化学療法 原発臓器別延べ人数(人)
※2016年1月～2016年12月(n=3794)



ここ数年、当センターでも乳がんの患者さんが増加していると感じています。乳がんの抗がん剤治療は、基本的に脱毛が起こりやすい薬剤を使用します。女性にとっては特に気になる副作用でもあり、ボディーイメージの変化が大きな部分です。センターでは、初回の治療時に、脱毛が始まる時期、脱毛が始まると起こってくる皮膚の症状の説明を行います。そして、治療が終了したら必ず髪の毛は生えてくることをお話しして、不安の軽減に努めています。また、ご主人や子供さんなどのご家族に心配をかけたくないと、つらい気持ちをこらえている方も少なくありません。そういう患者さんに気持ちを表現してもらい、治療に前向きになれるよう寄り添う事を心がけています。

緩和ケアでの関わり

5 階西病棟 緩和ケア認定看護師
上原 徳子

乳がんの患者さんへの関わりとしては、外科病棟に所属していることもあり、周術期のケアや退院指導が中心となっています。患者さんの様子に応じて、患者会や下着などに関する情報提供を行ったり、ボディーイメージの変化に伴う喪失感や子どもとの関わりに対する不安などの気持ちのつらさへの支援として、お話を伺うこともあります。

また、緩和ケアチームの一員として、疼痛コントロールや精神的支援などで患者さんやご家族、病棟スタッフと関わらせて頂いています。院外の活動としては、乳がん患者会にて“がんとの付き合い方”というテーマのもと、お話をさせて頂く事もあります。

乳がんは比較的若い年代から罹患しやすく30歳代後半から罹患率が増加します。女性として、社会人として、多くの役割を担う時期に、大きな影響を及ぼします。さまざまな苦痛を抱える患者さんに出来るだけ寄り添い、支援出来るよう、より一層努力していきたいと思っています。

がん患者に対する心理的支援

入退院支援センター 臨床心理士
林 明日香

当院では、がんサロン「和み」を2ヶ月に1回開催しています。当院でがんの治療を受けている患者さんとそのご家族であれば、どなたでも参加が可能です。前半は当院スタッフによるミニレクチャー、後半はお茶とお菓子を囲みながら参加者同士またはスタッフと交流する茶話会です。毎回、10名前後の方々に参加をいただいています。がん関連の知識を増やしたい方、誰かと気持ちを共有したい方など参加目的は様々ですが、来られた方々にホッと和んでいただけるよう心がけています。他の参加者の話を聞いて元気が出たとの声を聞くと、気持ちを支える場の1つとなっていることを感じて嬉しいです。また、医師・緩和ケア認定看護師・医療ソーシャルワーカー・司書・臨床心理士の多職種で運営しているのも、特長の1つです。

入院がん患者さんに対する心理的支援は看護師が中心ですが、患者さんから希望があったり看護師が必要と感じたりした時には、臨床心理士も介入しています。守秘には配慮しつつ、療養を進めていく上で必要な情報は他職種とも共有しています。臨床心理士がかかわるメリットの1つに、「時間を気にせずゆっくりと話ができる」ことが挙げられます。かわりの入口は当然「がん」ですが、お話を伺っていくと、病気を巡る気持ちばかりでなく、家族のことやこれまでの生活、医療者への思い、自身の性格や死生観などが語られることも少なくありません。時々、我に返ったように「ごめんなさいね、いらん話ばかりして」とおっしゃる人もいますが、どんな語りであれ、その人の人生の大切な一部です。こちらで内容を制限しないよう気をつけながら、そして他職種への橋渡しも意識しながら、話をお聞きしています。



写真左から 林 明日香 / 上原 徳子 / 大谷 孝代

NEXT

シリーズ 『 乳がん 』 次回はお休みします。5月号に掲載予定です。



2017 年 2 月 5 日に岡山大学で行われた OSCE cup 2017（岡山大学病院卒後臨床研修センター /NPO 法人岡山医師研修支援機構）において当院研修医が

7 部門中 3 部門の MVP を獲得しました。

今年は県内外 9 病院から 30 名近い 1 年目研修医が参加しました。研修医のレベルも年々上がる中での開催でしたが、内藤 祥 先生が腰椎穿刺、大賀 勇輝 先生が CV 挿入、山口 聡美 先生が bad news の患者面接で日頃の実力をいかに発揮しました。

津山中央病院 卒後臨床研修センター

外来診療担当医の変更について

津山中央病院 産婦人科に変更がありました。別紙、外来診療担当医表にてご確認ください。
ホームページ (<http://www.tch.or.jp>) でもご覧いただけます。

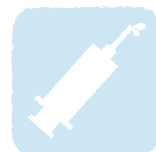
研究会、教室のご案内

■美作地区胸腹部画像診断研究会

日時／通常毎月第4金曜日 19:00～(8・12月を除く)

場所／津山中央病院 医療研修センター 2階講義室

※変更がある場合がございますので、詳細はお問合わせ下さい



■津山中央記念病院 糖尿病教室

日時／毎週火・水曜日 13:30～(30～60分程度)

場所／津山中央記念病院 2階会議室

■津山中央病院 糖尿病教室

日時／毎週月曜日 13:00～14:00

場所／津山中央健康管理センター 3階
A会議室

CCセミナー（地域連携セミナー）のご案内

当院では、地域連携セミナーとして、CCセミナーを開催しています。
地域の医療従事者の方に自由にご参加いただけます。

3月

日時／平成29年3月10日(金) 18:30～20:10 記念ホール

内容／『地域連携と災害対応』

講師／済生会熊本病院 院長 副島 秀久 先生

日時／平成29年3月14日(火) 医療研修センター2F 講義室

内容／『非結核性抗酸菌症について』

講師／津山中央病院 内科 武田 洋正 医師

日時／平成29年3月15日(水) 19:00～21:00 記念ホール

内容／岡山県北救急セミナー

講演①『ピッツバーグ大学救急医学講座の救急医療と臨床研究』

講師／岡山大学病院 救急科 助教 内藤 宏道 先生

講演②『救急車はびっくり箱』

講師／岡山大学病院 医歯薬学総合研究科 救急医学分野学 教授 中尾 篤典 先生

4月

日時／平成29年4月15日(土) 14:00～ 健康管理センター A会議室

内容／『フットケアの基本的知識 — 治療と看護 — 』

講師／津山中央病院 心臓血管外科 久保 陽司 医師

津山中央病院 糖尿病看護認定看護師 保田 司 看護師

地域連携室からのお知らせ

あんしん連携カード『結【ゆい】カード』を4月より発行開始致します。
詳細につきましては別紙説明書を御覧ください。

私たち津山慈風会は、
地域の皆さんに
やさしく寄り添います

津山中央病院 地域連携室
〒708-0841 津山市川崎 1756
TEL 0868-21-8111 FAX 0868-21-8201
メール tcmn@tch.or.jp
HP <http://www.tch.or.jp>